



アデリーペンギンの親子

4羽のヒナが水槽内に仲間入り！

# 複数羽誕生は3年ぶり アデリーのヒナが すくすく成長中！



名古屋港水族館の飼育係が実際に南極で観察したアデリーペンギンのヒナのクレイシ(名古屋港水族館の飼育係が撮影)。特別展「飼育係、南極に行く」が開催中！



名古屋港水族館でもアデリーペンギンのヒナが集まってできたクレイシ？が観察できた。普段は各々巣で親と一緒にいることが多いため数少ない貴重な光景かもしれない。見ることができたらラッキーかも？

野生では成長するとヒナだけの保育所が作られる  
ヒナが小さいころは、親が交代でヒナをあたため、交互に海に餌をとりに行くが、ヒナが大きくなるとヒナへ与える餌もたくさん必要になるため、両親がどちらも餌をとりに行くのを留守にする状態となる。そこで、アデリーのヒナはある程度の大きさになると「クレイシ」と呼ばれるヒナだけの集団をつくる。クレイシは「密集すること互いの体温を維持する」、「捕食者から身を守る」などの役割があると考えられている。飼育下では野生に比べやすく餌が手に入る環境であることなどからクレイシが見られることは少ないと思われる。

アデリーのヒナ複数羽誕生！  
昨シーズンに続き、今シーズンも無事に可愛らしいアデリーペンギンのヒナが誕生した。複数羽産まれるのは3年ぶり。現在4羽のヒナがそれぞれ親ペンギンに守られながらすくすく成長中。2月頃の巣立ちまで親ペンギンがヒナを育てる姿が見られる。



ジェンツーペンギンの親子



ヒゲペンギンの親子

ヒゲ&ジェンツーもそれぞれヒナが誕生  
アデリーペンギンだけでなくヒゲペンギンで3羽、ジェンツーペンギンで1羽のヒナがすくすくと成長している。



イラストで紹介！アデリーのヒナを養うオオトウゾクカモメ

担当飼育係の声  
南極に行った飼育係からアデリーペンギンとオオトウゾクカモメの争いについて話を聞くことが出来ました。今回は飼育係が実際に見たその光景をイラストで紹介してみました。野生の厳しさを感じてもらえればと思います。